

令和4年度 水道事業における官民連携手法検討支援業務委託にかかる
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

令和4年度 水道事業における官民連携手法検討支援業務委託
契約期間 契約締結日から令和5年3月31日まで

2 選定した委託予定事業者

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

3 公募期間

令和4年4月18日から令和4年5月26日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定会議による審査の結果

(1) 選定会議メンバー（敬称略）

委員氏名	役職等
伊賀 正師	神戸市水道局 事業部 配水課長
鎌田 泰子	神戸大学大学院 工学研究科 准教授
藤原 直樹	追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授

(2) 選定会議の開催日

第1回選定会議 令和4年4月8日
第2回選定会議 令和4年6月13日

(3) 審査基準

審査項目	審査基準	配点
(1) 事業の理解度	・ 本市水道事業の現状及び管路更新事業に係る課題を認識した提案となっているか。 ・ 公表している「PFI管路更新事業の総括及び今後の基本的方向性について」について、内容を理解しているか。	15点

(2) 企画力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容である以下の4点に対し、専門家ならではの効果的な手法や技法を盛り込んだ的確な提案になっているか。 ア 新たな官民連携プランの策定に関する支援に係る企画提案 イ 入札説明書等の作成に関する支援に係る企画提案 ウ 財務シミュレーションの確認及びVFM算定に関する支援に係る企画提案 エ 官民のリスク分担に関する支援に係る企画提案（施工条件の不確実性への対処や情報開示に関する支援など） 	40点
(3) 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ PFI方式の導入可能性調査検討業務又はアドバイザリー業務などに従事した経験を有する法務、財務及び技術的分野等に関する専門家等が適切に配置され、円滑かつ効率的に本業務を遂行できる体制になっているか。 ・ 本市と綿密に連絡調整が行える実施体制を提案しているか。 	20点
(4) 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務が実行可能な方法及び計画を提案しているか。 	15点
(5) 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務を履行するうえで、類似した業務実績がどれだけ豊富にあるか。 	10点
合 計		100点

(4) 審査を行った事業者

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 全1者

(5) 審査の結果（選定会議メンバーの評価点の合計点）

審査項目	審査基準	配点
(1) 事業の理解度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市水道事業の現状及び管路更新事業に係る課題を認識した提案となっているか。 ・ 公表している「PFI管路更新事業の総括及び今後の基本的方向性について」について、内容を理解しているか。 	37/45点

(2) 企画力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容である以下の4点に対し、専門家ならではの効果的な手法や技法を盛り込んだ的確な提案になっているか。 オ 新たな官民連携プランの策定に関する支援に係る企画提案 カ 入札説明書等の作成に関する支援に係る企画提案 キ 財務シミュレーションの確認及びVFM算定に関する支援に係る企画提案 ク 官民のリスク分担に関する支援に係る企画提案 (施工条件の不確実性への対処や情報開示に関する支援など) 	86/120点
(3) 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ PFI方式の導入可能性調査検討業務又はアドバイザリー業務などに従事した経験を有する法務、財務及び技術的分野等に関する専門家等が適切に配置され、円滑かつ効率的に本業務を遂行できる体制になっているか。 ・ 本市と綿密に連絡調整が行える実施体制を提案しているか。 	46/60点
(4) 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務が実行可能な方法及び計画を提案しているか。 	30/45点
(5) 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務を履行するうえで、類似した業務実績がどれだけ豊富にあるか。 	28/30点
合 計		227/300点